

「県立高校改革推進プラン・第1次実施プログラム（案）」県民説明会 第9学区：袖ヶ浦会場

- 1 日 時：令和4年8月8日（月曜日）午後6時30分から午後8時30分まで
- 2 場 所：袖ヶ浦市民会館 大ホール
- 3 内 容：「県立高校改革推進プラン・第1次実施プログラム（案）」の説明と意見聴取
- 4 参加者：32名
- 5 主 催：千葉県教育委員会

意見聴取の概要

普通科及び普通系専門学科・コース

Q 魅力ある学校づくりには期待している。体育科・芸術科の新たなコース設置検討とあるが、具体的にどのようなコースになるのか。

A 現在、県内体育科は八千代高校、芸術科は松戸高校の各1校であります。今後、地域のニーズを確認しつつ拡大していければ良いと考えております。

Q 現在天羽高校の工業基礎コースは志望者も多いが、設備が整っていない。人気もあって、入学しても、希望通り工業基礎コースに入れない。

A 天羽高校の工業基礎コースはニーズが高いため、コースを選択できなかった生徒に対して救済措置として、何かできないか、学校にもお願いしております。今後施設の充実も含め検討してまいります。今回、初の卒業生が出ますので、工業系の進学や就職ができるよう願っております。

Q 教員になりたい生徒が少なくなっている。教員基礎コースはありがたい、どのような内容か。

A 教員になるには大学へ行かなければならないが、大学の先生に来てもらったり、授業体験や地元の小・中学校へ行き、授業のサポートをするなど、教員になるというモチベーションを上げております。千葉女子高校、安房高校のコース1期生の卒業生が8人本県の公立学校で正式に採用されました。

職業系専門学科・コース

Q 袖ヶ浦高校にも新たなコース設置により、新たなカリキュラム編成が必要となるが、現状の体制では負担が多く無理、‘お題目だけ’にならないよう（人）、（物）、（金）を考えて計画してほしい。

A 今後、人、設備等しっかり考えて、‘お題目だけ’にならないよう支援してまいります。

総合学科

なし

社会のニーズに対応した教育

なし

全日制高校の適正規模・適正配置

Q 統合に関して著しく困難になった場合とは、どのくらいの定員を想定しているか。

A 定員に関しては地域の状況によって異なります。地域連携協働校の指定で、多少、小規模になってもすぐ統合せず残す方向で考えております。ただし、地域連携協働校に指定されたから未来永劫

統合しないとは限りません。

Q 学校が無くなることで、近隣の商店や書店などが無くなりさびれて、過疎化が進む。学校はインフラと考えて何とか地域に学校が残るよう検討してほしい。

A 今後も地域と協力して、存続について検討してまいります。

全体

Q このプランは現場の声を聴いて策定されたのか。

A プラン策定に当たり、策定懇談会を開き、有識者、中学校、高校の校長会会長や企業の方等様々な方に集まっていただき議論を重ねました。また、市町村進路担当の指導主事、小中学校、高校等学校現場の先生にも意見を聞いてプランを作成しました。

Q コース選択後に、自分に合わないと思った場合に変更可能か。

A 学校の教育課程の中で検討することになります。

Q 小学校では小規模特認校がある。全国にも小規模校で魅力ある学校づくりをやっている。県としても検討しているのか。

A プランの中でも海洋科について柔軟な生徒募集など、その在り方を検討しております。今、お話に出たことも検討の範囲内と考えております。

その他

Q 利便性の悪い郡部での交通機関との連携や産官学との連携に関して、現在どのくらいの企業との連携でこのようなコンセプトができたのか。

A 通学のための交通費は従来から自己負担であります。学校でバス会社に交渉し、スクールバスのような形のお願いをしておりますが、費用は自己負担です。授業の為に上総キャンパスへの移動は、公費で負担しております。産官学との連携については、工業では、「工業コンソーシアム千葉」を立ち上げ、千葉県の工業教育発展に取り組んでおります。農業は「アグリサポーターズちば」で農業教育発展に取り組んでおります。具体的な企業数はこの場ではお答えできません。

Q 上総高校（普通科）が無くなり、君津青葉高校は募集定員の40%程度の入学希望者しかいない状況（質問者調べ）である。困難な状況とはいえこれ以上学校が減ると地域の過疎化が進むがどうか。

A 地域事情も考慮しながら今後も検討してまいります。

要望・感想

○ 全国の事例をもっと提供してほしい。小、中学生の意見等も聞いているか。

○ 10組程度の統合は残念。私立へ行く生徒は増加している、木更津市は卒業生の半数以上。交通手段の不便な地域への援助、都市部での統合も考えてほしい。

○ 40人学級ではなく、30人学級を進めていけば、改革プランではなく、今の体制でもいける。